



芋ほり遠足から

園長 柿沼 敦子

10月26日(木)年長組と年中組は、芋ほり遠足に行ってきました。雨模様の日が続いたので天候を心配していましたが、秋晴れの気持ちのよい遠足日和となりました。バスからは、東京タワーが青い空に映え、遠く富士山も見えました。前日の事前指導も含め、子どもたちの心は期待でわくわくしています。バス内でのレクリエーションも弾んでいました。

芋畑では、裸足になり、ふかふかの土の感触を味わいました。日かげと日なたでは温度差があり、「つめたーい」「ここはあったかいよ」と足の裏で感じる貴重な体験となりました。芋ほりが始まりました。農園の方に教えていただき、芋に傷が付いたり、折れたりしないように芋の周りから掘っていきました。「ほれた!」と歓声をあげ、「みて、みて!」「こんなにおおきい!」「あかちゃんのおいも!」と土の中から掘り出しては宝を見つけたように声があがりました。顔にも土が付きましたが、どの子も満足そうな笑顔です。実際の体験は心を豊かに育みます。

翌日、年長組は、芋の蔓で飾りを作りました。初めて作る子が多かったのですが、先生の説明を良く理解して取り組んでいました。年中組は、掘ってきた芋を見ながら、大きな紙に絵の具で芋を描きました。伸びやかでダイナミックな芸術作品となりました。年少組は、遠足は留守番でしたが、年長組から誘われて屋上の芋畑(プランター)で芋ほりをしました。この日のために年長組が育てた芋です。大小様々な芋に年少組のかわいい歓声が上がりました。遠足の体験が次の活動につながっています。自分たちが関わったことだからこそ主体的な活動となります。

また、登園時に園児やお母さん方から、掘ってきた芋をさっそく料理してくださったことの報告を多くいただきました。中には「芋の天ぷら、芋ご飯、芋の味噌汁」と、芋づくしのお宅もあったようです。お弁当に入っている子も多く、「家族の弁当にも入っています」と嬉しいお知らせもありました。「〇〇ちゃんが掘ってきた芋の料理!」を囲んで、家族で楽しい晩御飯の時間を過ごしたことや、園児やご家族がお弁当箱を開けたときの幸せ感などを思い、心がぽかぽかしました。まさに心の栄養を満点にする食育です。ここにもご家庭と幼稚園の連携を感じとても嬉しかったです。ありがとうございました。

芋づるで作った飾り(年長組)



伸び伸びと絵の具で芋を描きました(年中組)



幼稚園の屋上で芋ほり体験(年少組)

